
第 76 回数理社会学会大会 (JAMS76) プログラム (大会前暫定版)

日時：2024 年 3 月 16 日（土）～3 月 17 日（日）

会場：大阪大学吹田キャンパス

大会委員長：五十嵐彰（大阪大学）

1 参加費：

一般（会員）4,000 円 学生・院生（会員）1,000 円

一般（非会員）5,000 円 学生・院生（非会員）2,000 円

2 懇親会：

一般 6,000 円 学生・院生 2,000 円

3 主なスケジュール

時間

3 月 15 日	15:00～17:00	ワンステップアップ・セミナー
3 月 16 日	9:10～10:50	自由報告 I (第 1 部会)
	11:00～12:40	自由報告 III (第 3 部会)
	12:40～13:30	昼食休憩
	13:30～15:10	自由報告 IV (第 4 部会)
	15:20～17:00	自由報告 VI (第 6 部会)
3 月 17 日	9:00～10:40	萌芽的セッション III
	11:00～12:40	萌芽的セッション IV
	12:40～13:30	昼食休憩
	13:30～15:30	会員企画セッション

4 主な会場（ユメンヌホールおよび人間科学本館 51 講義室）

- ・受付：人間科学本館 1 階
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：人間科学本館 32 講義室

5 口頭報告者へのお願い（自由報告）

- ・部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます（Windows10, Office365）。持参パソコンの場合、HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です。いずれの場合も持参の機器は、開場前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ファイルは当日持参してください（USB メモリ利用可）。

- ・配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴、15 分 2 鈴、25 分 3 鈴を鳴らします。

6 ポスター報告者へのお願い（萌芽的セッション報告）

- ・1 日目の萌芽的セッション I で報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。萌芽的セッション II で報告される方は可能であればポスターを昼食休憩中（12:40～13:30）に貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。各セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・2 日目の萌芽的セッション III で報告される方はポスターを来場後なるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。萌芽的セッション IV で報告される方はポスターを休憩時間中（10:40～11:00）になるべく速やかに貼りつけていただき、セッション終了後に速やかに取り外しください。各セッション後 15 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大で A0（縦 1189 × 横 841mm）のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋲あるいはセロハンテープ（いずれも開催校が用意）が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

7 問い合わせ先

研究事務局 〒600-8234 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学 産業社会学部 金澤 悠介

E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 – 2 (吹田キャンパス)

大阪大学大学院 人間科学研究科 五十嵐 彰

E-mail: jams.meeting76[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

3月15日（金）

13:00～15:00 編集委員会	人間科学本館 42 講義室
13:00～15:00 研究活動委員会	人間科学本館 32 講義室
15:00～17:00 ワンステップアップ・セミナー	人間科学本館 51 講義室
17:00～19:00 理事会	人間科学本館 43 講義室

3月16日（土）

08:45 開場	
09:00 開会挨拶 大会委員長 五十嵐彰	ユメンヌホール
09:10～10:50 自由報告 I・自由報告 II	
【第1部会】 健康とライフコース 司会 調整中 (xxxxx)	ユメンヌホール

1	男性家族介護者をとりまく諸相：2022年生活と支え合いに関する調査の分析から	毛塚和宏(国立社会保障・人口問題研究所)
2	精神的健康に対する初職非正規雇用労働の罠効果：初職開始年による age trajectory の違い	鳥居勇氣(立教大学大学院)
3	Covering The Long Shadow: The Gap-closing Approach to Health Disparity by Social Origin in Japan	新田真悟(東京大学大学院)
4	中途障害と高齢期の経済状況：有向非巡回グラフに基づく心身の損傷の因果効果の推定	榎原賢二郎(国立社会保障・人口問題研究所)

【第2部会】 社会ネットワーク分析 人間科学本館 51 講義室

司会 調整中 (xxxxx)

1	芸能界の「癒着構造」を探る「開4部超グラフ」解析：ジャニーズ事件に迫る社会ネットワーク分析	○金光淳(京都産業大学)・高橋佳乃(同志社大学)
2	政治的機会構造と利益団体ネットワーク形成の様態：気候変動政策ネットワークの国際比較研究から	佐藤圭一(一橋大学)
3	負の評価の負の効果の検討：マクロ社会学実験を用いた否定的評価の動的ネットワーク分析	○大林真也(青山学院大学)、稻垣佑典(成城大学)、瀧川裕貴(東京大学)、謝拓文(東北大学)
4	紐帶の強さが振舞いの伝播の速さに及ぼす影響	石井秀昌(東京大学大学院)

* * * * 休憩（10分） * * * *

11:00～12:40 自由報告 III・萌芽的セッションIII

【第3部会】 社会学的方法の基礎

ユメンヌホール

司会 調整中 (xxxxx)

1	「意図せざる結果」から見る集団の変容と潜在的可能性 ：M・ヴェーバーの宗教社会学に内在する方法論について	山本博子
2	数理で考える	落合仁司（同志社大学）
3	Iceland の Baby Boom が示唆すること：機会費用仮説の破綻	池周一郎（帝京大学）
4	インターネット調査の偏りについて：社会的地位と意識に関する統計的社会調査との比較	村瀬洋一（立教大学）

【萌芽的セッション I】

人間科学本館 33 講義室

1	現代日本の社会学界：ブルデュー派アプローチによる「界」の構造と学知の関連の分析	高橋祐貴（東京大学大学院）
2	災害リスクの可視化に伴う社会的脆弱性の変動	○前田豊（信州大学）・金太宇（桃山学院大学）
3	金融リテラシー調査からどのような金融トラブルとの遭遇を予測できるか	○鈴木明宏（山形大学）・高橋広雅（広島市立大学）・竹本亨（日本大学）
4	教育期待の多元性と社会階層：多重対応分析を用いて	○数実浩佑（宝塚大学）・金南咲季（相模女子大学園大学）
5	日本における若年層年者の生活満足度の規定要因：住宅とライフコースに注目して	李擎月（東北大学大学院）
6	階層間不信の下位構造：意図、能力、価値共有にもとづく信頼	大崎裕子（立教大学）
7	職業情報追加システムのオンライン調査への組み込み：SSJDA Panel 調査における結果	○高橋和子（敬愛大学）・藤原翔（東京大学）・奥村学（東京工業大学）・鈴木泰山（（株）ピコラボ）・鈴木佑京（（株）ピコラボ）・合木茂（（株）ピコラボ）
8	他者への期待と協力行動に関する分析	門間晴風（東北大学）
9	Consequence of Retirement on Divorce	Shiro Furuya (University of Wisconsin-Madison)
10	韓国における既婚女性の就労と親子間の援助関係	韓仁熙（東京大学大学院）
11	出産ペナルティと職業の関連の検討	深井綾乃（お茶の水女子大学大学院）
12	PISA 調査における社会経済文化的地位 (ESCS) の構成と学力への影響	森いづみ（上智大学）

13	コンジョイント実験を用いた教育の公的価値についての人々の認識の解明	森坂太一(東北大学大学院)
14	価値観の差異にもとづくいじめ発生の数理モデル	阿藤寛奈(同志社大学)
15	私費外国人留学生の生活様式の内部差異：経済収支構造を中心に	劉逸(東京大学大学院)

* * * * 昼食休憩 (50分) * * * *

13:30～15:10 自由報告IV・自由報告V

【第4部会】 階層化に対する諸アプローチ

ユメンヌホール

司会 調整中 (xxxxx)

1	Locating the Upper Class Advantage: Differential Impacts of Social Origin on Earnings in Japan	麦山亮太(学習院大学)
2	Wealth inequality and educational attainment in Japan: Accumulation of inequality over multiple generations	竹ノ下弘久(慶應義塾大学)
3	地位の非一貫性の趨勢の再検討：数理モデルによるアプローチ	西尾知耀(東北大学大学院)
4	Do We Need Extraordinary Talent to Succeed?	浜田宏(東北大学)

【第5部会】 空間にに対する社会科学的アプローチ

人間科学本館 51 講義室

司会 調整中 (xxxxx)

1	Twitter(X)における政治的分極化の分析：Discourse Atom Topic Modelに基づく考察	○CHEN Zhangxuan(青山学院大学大学院)・大林真也(青山学院大学)
2	Beyond Absolute Numbers: the Effects of Racial and Ethnic Minority's Relative Rank in Size on Residential Segregation	池内里桜(大阪大学大学院)・○鎌田拓馬(大阪大学)
3	A social scientific study of spatial heterogeneity of vegetation index in rice paddies using satellite remote sensing	山口侑平(東北大学大学院)
4	QGIS プラグイン版『書き書きマップ』用のユーティリティ・プログラムの開発	原田豊(立正大学)

* * * * 休憩 (10分) * * * *

15:20～17:00 自由報告VI・萌芽的セッションII

【第6部会】 教育とジェンダー

ユメンヌホール

司会 調整中 (xxxxx)

1	大学定員割れの進行：東京圏私立大学の学部入学定員充足率	鹿又伸夫(十文字学園女子)
---	-----------------------------	---------------

		(大学・慶應義塾大学)
2	アカデミック・ハラスメントにおける不快感の促進要因	○太郎丸博(京都大学)・栗田朋香(京都大学)・根本千裕(京都大学)
3	育児休業が女性の家庭生活に及ぼす影響	劉思良(大阪大学大学院)
4	#MeToo and Beyond: Addressing Gender Gaps in the Workplace	池内里桜(大阪大学大学院)

【萌芽的セッションII】

人間科学本館 33 講義室

1	貧困線パラドクス	加藤晋(東京大学)・Conchita D'Ambrosio (University of Luxembourg)・五十嵐彰(大阪大学)・○釜賀浩平(上智大学)
2	散骨を希望する人々は誰か? : 規定要因の探索的分析	○桑名祐樹(青山学院大学)・辻井敦大(立命館大学)
3	Mediation Control Strategy	中尾走(広島市立大学)・樊怡舟(広島大学)・○康凱翔(広島大学大学院)
4	特別あて所配達郵便を用いた郵送調査への協力行動における謝礼の効果	渡辺健太郎(立教大学)
5	経済ゲームの名前は行為の意味を変えるか	○水鳥翔伍(北海道大学大学院)・高橋伸幸(北海道大学)
6	日本企業ネットワークのダイナミクス: Motif 分析と Stochastic Actor-oriented Model を用いて	○藤山英樹(獨協大学)・金光淳(京都産業大学)・鈴木努(東北学院大学)・平井岳哉(獨協大学)
7	サポートネットワーク形成要因の検討 2: 追跡調査による持続性の検討	内藤準(成蹊大学)
8	子ども食堂の認知状況と利用状況の関連要因の分析	佐々木織恵(国立社会保障・人口問題研究所)
9	木グラフを利用した、社会ネットワーク分析方法とその尺度	金光淳(京都産業大学)
10	負債回避に関する日本での再現実験	○薬師寺一憲(大阪公立大学)・花木伸行(大阪大学)・段杰一(京都先端科学大学)
11	性別教育機会格差と性別専攻分離の趨勢把握	上山浩次郎(北海道大学)
12	新卒採用における適正検査のジェンダー効果: 組織的要因に着目して	○森川ゆり子(東北大学大学院)・豊永耕平(近畿大学)

13	デジタルデバイドが世代内移動に与える影響の計量分析	劉崢（東北大学大学院）
14	器をめぐる趣味人たちのネットワーク：昭和5年から昭和25年にかけての雑誌執筆者の分析	○小田中悠（京都先端科学大学）・團康晃（大阪経済大学）
15	個人属性や活動特性を考慮した都市愛着や定住、居場所、信頼感、興味の分析	千葉真（東北大学大学院）
16	社会保障制度への態度、生活保護受給と生活満足度の関連：実態と意識の齟齬は生活満足度の低下を招くか	毛塚和宏（国立社会保障・人口問題研究所）

* * * * 休憩（10分） * * * *

17:10～18:10 総会

ユメンヌホール

18:30～20:00 懇親会

3月17日（日）

08:45 開場

9:00～10:40 【萌芽的セッションIII】

人間科学本館33講義室

1	Partner Preference in Intermarriage in Japan: Insights from a Conjoint Survey Experiment	Stefan AICHHOLZER（大阪大学大学院）
2	フリーランスからみる家庭内の無償労働：家事と育児の分担に注目した予備的検討	仲修平（明治学院大学）
3	一般化された互酬性をどう捉えるか	三隅一人（九州大学）
4	御柱祭への参加と出身高校との関係	○辻竜平（近畿大学）・相澤真一（上智大学）
5	父子世帯の子どもの進学期待の不利を検証する：関係的剥奪仮説に着目して	建部知則（学習院大学大学院）
6	育児休業の利用が管理職への昇進に与えるペナルティ：オンラインサーベイ実験を用いた検証	○吉田航（国立社会保障・人口問題研究所）・尾藤央延（東京都立大学）
7	最小相互作用は向社会的行動につながるか	石黒格（立教大学）
8	Happiness is not Mutual: Exploring Differences in the Perception of Well-being with Words-association Network	○呂沢宇（東北大学）・石橋拳（専修大学大学院）・齋藤崇治（名古屋商科大学）・謝拓文（東北大学）・保田幸子（東京大学）・瀧川裕貴（東京大学）
9	私立大学の「定員割れ」問題の再評価：時間依存性の処置と交絡に着目して	松宮慎治（信州大学）

10	確率標本へのウェブ調査におけるサティスファイス行動に関する分析：SSP2022 調査を事例として	○前田忠彦（統計数理研究所）・小林大祐（金沢大学）・石橋拳（専修大学大学院）
11	SNS における権威主義－北朝鮮インスタグラムアカウントを中心 に－	○齊藤穂高（神戸大学）・松原弘明（東京工業高等専門学校）・中原雅人（神戸大学）
12	圏論による現象学的・社会学のいくつかの表現：圏・同型射・関手から	大山智徳（放送大学）
13	学歴階層間の死亡率差は階層変数に何をもたらすか：同出生コードの学歴分布と学歴移動表の調査時点間比較を通して	○石橋拳（専修大学大学院）・前田忠彦（統計数理研究所）
14	Multidimensional Structure of Occupational Heterophily	Nobuo Suzuki (Iwate Prefectural University)
15	アクティビティースペース論に基づくパンデミック期の東京における体験隔離・訪問隔離の変化の分析	○瀧川 裕貴（東京大学）・呂沢宇（東北大学）・孫晨晨（東京大学）・澁谷遊野（東京大学）・関本義秀（東京大学）
16	オンラインパネルモニタの構築と回答行動：SSJDA Panel2021-2023 の基礎分析	石田賢示（東京大学）・○谷口沙恵（東京大学）・藤原翔（東京大学）

* * * * 休憩（20分）* * * *

11:00～12:40 自由報告VII・萌芽的セッションIV

【第VII部会】 意識とライフスタイル

ユメンヌホール

司会 調整中 (xxxxx)

1	高学歴化と女性の労働力参加による階層意識への影響：現役世代における中意識の弱まり	数土直紀（一橋大学）
2	階層帰属意識を決めるのは個人か世帯か：両親と子どもの地位を加えた三世代に渡るアプローチ	○石橋拳（専修大学大学院）・那須蘭太郎（東京大学大学院）・前田忠彦（統計数理研究所）
3	日本における喫煙行動と文化資本に関する計量分析	○村上真都（同志社大学）・河瀬彰宏（同志社大学）
4	美容医療は人を幸せにするのか：施術前後の主観的幸福感の比較	○小林盾（成蹊大学）・奥美香子（ヒルズグレイスクリニック）・奥謙太郎（ヒルズグレイスクリニック）

【萌芽的セッションIV】

人間科学本館 33 講義室

1	職業軌跡による人生後期の経済的な不平等：中国における高齢者をケースにして	楊葉（慶應義塾大学）
2	賃金分布全体にわたる男女間賃金格差の検討	鈴木健一郎（名古屋大学大学院）
3	検索キーワードの共起分析によるコロナ禍の行動制限が健康意識に与えた影響についての探索的研究	小宮山智志（新潟国際情報大学）
4	意識調査を活用した Minimum Income Standard 推計の試み	山本耕平（国際経済労働研究所）
5	家事行動におけるフレームとしてのジェンダー規範の検討	○尾藤央延（東京都立大学）・齋藤僚介（大阪大学）
6	地方圏において若年人口を維持する地域の性質	家高裕史（関西学院大学大学院）
7	Does material deprivation differ depending on whether the person is a disability certificate holder or not?	百瀬由璃絵（東京大学）
8	いかなる少子化対策が未婚者の出生・結婚意欲を高めるか：要因配置実験による検証	○麦山亮太（学習院大学）・松田茂樹（中京大学）・大久保心（日本学術振興会、東京大学）・藤間公太（京都大学）・余田翔平（国立社会保障・人口問題研究所）
9	外国人労働者と雇用ポートフォリオの編成：企業調査データの分析から	○永吉希久子（東京大学）・園田薰（日本学術振興会、法政大学）・有田伸（東京大学）
10	3世代の階層移動に関する研究	○石田浩（東京大学）、俣野美咲（東京大学）
11	オンライン履歴書実験による新規大卒者への評価に関する研究の新展開	豊永耕平（近畿大学）
12	「夢追い」職業希望が労働市場アウトカムにもたらす帰結	○山口哲司（東京大学大学院）・打越文弥（プリンストン大学）
13	外国人親の教育期待の規定因	○中村翔（慶應義塾大学大学院）、北村友宏（慶應義塾大学大学院）、石田賢示（東京大学）、竹ノ下弘久（慶應義塾大学）
14	企業の情報開示と外部情報利用者とのコミュニケーションに関するモデル	○齋藤香織（明星大学）、濱谷義弘（岡山理科大学）
15	「防衛力」とは何か：朝日新聞社説記事における防衛論議の変遷	○中原雅人（神戸大学）・松

		原弘明（東京工業高等専門学校）・齊藤穂高（神戸大学）
--	--	----------------------------

* * * * 昼食休憩（50分）* * * *

13:30～15:30 会員発案企画

【会員企画セッション】 社会学の研究実践における諸問題

ユメンヌホール

司会 吉田航（国立社会保障・人口問題研究所）

1	社会学における分析方法の妥当性	鎌田拓馬（大阪大学）
2	事前登録の意義と実践	水野景子（関西学院大学）
3	社会科学研究データの管理・公開	朝岡誠（国立情報学研究所）
4	社会調査における同意の問題	田代志門（東北大学）

* * * * 休憩（10分）* * * *

15:40 閉会挨拶 大会委員長 五十嵐彰

ユメンヌホール室

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 学内ネットワークは利用できません。eduroamをお使いください。